

内原地区だより

はばたくうちばら

vol. 10

令和7年
3月31日発行

Photo:K.HORIE

発行者 内原地区自治連合会 会長 堀江 清彦 〒319-0315 茨城県水戸市内原町1395-6 内原市民センター内 TEL:029-259-4044

令和6年度後期

内原区自治連合会 各部会からの事業報告

総務自治部 2024内原ふれあいまつり

総務自治部 部長 鈴木 瑞生

今年も関係各位の協力のもと、11月3日(日)に盛大に開催されました。広場に建てられた櫓を囲み、30余のテントが張られました。出店団体も31という規模はなかなかの壮観でした。「ふれあい」という名前を冠するにふさわしいのは、規模だけではなく、そこに集う参加者の沢山の笑顔があるからなのでしょう。それらが、そこに住む人々の連携を育て、絆を生んでいく。この祭りがその一助になればいいと願っています。



国校区新興住宅開発事業報告

国校区自治会長 糸山 旭太

国校区自治会は現在60戸自治会加入しておりますが、世帯数は100戸を超え、のどかな農業地も住宅地にかわり、現在、38世帯の新興住宅の開発が進んでおります。

お子さんをもつ家庭が主流で共働き、子育ての両方で精一杯です。

「水戸市町内会・自治会の活動の活性化に関する条例」が4月より制定され、これからも町内会加入促進活動を継続していきたいと思っております。



水戸市市民体育祭内原市民スポーツ大会・

奥久慈方面ふれあいハイク

健康増進部 部長 今瀬 一郎

内原市民スポーツ大会

令和6年10月20日(日)の9時から12時に、参加者145名が内原ヘルスパークに集まり、「ボッチャ、輪投げ、キックターゲット、ストライクアウト」の4競技に汗を流し、老若男女が交流を深めました。また、素晴らしいプレーには大きな歓声が起こり、楽しい半日を過ごしました。



奥久慈方面ふれあいハイク

令和6年11月10日(日)に、参加者44名が大型観光バス1台で、ふれあいハイクに参加しました。日本最大規模の竜神大吊橋(長さ: 375m、高さ100m)を渡って、紅葉が始まったハイキングコースを散策し、景観を楽しみました。その後、豊田りんご園、「道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜」に寄り、秋の味覚や買い物を堪能しました。



令和6年度内原地区防災訓練

安心安全部長 上野 由来夫

令和6年12月14日(土)に内原市民センターで避難所開設訓練や濃煙体験、初期消火訓練など、防災訓練を実施しました。地区の方約90名が参加し、台風、大雨などの災害に備え真剣に取り組んでいました。



2024水戸漫遊マラソン大会・ 令和6年度水戸市消防団出初式参加

内原地区女性防火クラブ会長 飛田 静子

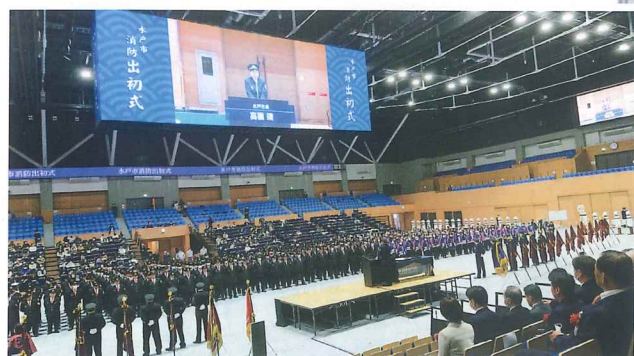
2024水戸漫遊マラソン大会

2024年10月27日(日)に第9回水戸漫遊マラソンの応援隊に内原地区自警団とともに特設テント設営し参加しました。今回は招待選手の増田明美さんが走られるのをひと目見ようと多くの人が集まっていました。増田さんは、赤色のTシャツ姿で、笑顔で手を振りながら目の前を走り抜けていきました。他の選手も私たちの声援が届いてるようで、手を振ってくれ、沢山の元気をランナーよりいただきました。



令和6年度水戸市消防団出初式参加

年明け、1月13日(月)に水戸市消防団出初式がアダストリアみとアリーナを会場に行われました。案内では式典、書道パフォーマンス、はしご乗り演技、幼年消防クラブの演奏など、どれも目を見張るものでした。チームワークの集大成そのものでした。野外では訓練や体験型防火防災ふれあい広場に多くの家族連れが集まっていました。女性防火クラブ員も気持ちを新たに地域活動が続けていきたいと思ひます。内原地区女性クラブでは、クラブ員を募集しています。窓口は、内原市民センターです。



第29回 水戸市民の集い式典表彰式・ 第55回 交通安全市民大会

内原地区自治連合会長 堀江 清彦

水戸市住みよいづくり推進協議会・水戸市交通安全推進協議会・水戸市主催の、「水戸市民の集い」が令和7年2月28日（金）水戸市民会館にて「住んで楽しい持続可能なまち」をテーマに開催されました。

第1部式典及び表彰式、第2部交通安全市民大会に水戸市34地区会より多数の参加者が集いました。永年勤続町内会長・自治会長ほう賞、市民清掃功労団他ほう賞に続き、内原地区より多年にわたり市民憲章の実践活動にご尽力いただきました2名の方が受賞されました。

その後、茨城県警察音楽隊による交通安全演奏会があり、交通事故防止を推進していくことを誓い終了しました。

内原地区市民憲章ほう賞

功績賞

久保田 圀男 様（地区会の防災・防犯活動、小学校の登下校立哨・見守り活動事業）

功績賞

坪井 春江 様（地区会のコミュニティ活動、民生委員・社会福祉事業）



茨城県立内原特別支援学校との交流

茨城県立内原特別支援学校校長 林 孝一

●高等部ボッチャ交流会(令和7年2月4日)

内原地区自治会連合の皆様と高等部1年生の生徒で「ボッチャ大会」を行いました。ボッチャでの交流会は今年で3年目となり、生徒たちも交流の日を楽しみに待ちわびていました。当日は、チームごとに順番や作戦を考え、お互いのプレーを鼓舞、賞賛し合うなど、笑顔で交流を深め、とても楽しいひとときを過ごしました。



●低学年地域昔遊び交流会(令和7年2月10日)

内原地区自警団・グリーンパトロール隊の方が来校され、小学部1・2年生と昔あそびを通して交流をしました。「昔あそび名人」手作りの紙ひこうき、紙でっぼう、グライダーは、どれも目新しいものばかりで、子どもたちは代わる代わる名人に教わりながら夢中で遊んでいました。心温まる交流となりました。



令和6年度 内原市民センター生涯学習発表会 (作品展示・発表会開催)

水戸市内原市民センター 所長 関 文 男

市民センターで活動している団体の、日頃の活動成果の場として、令和6年11月29日～12月1日に作品展示を、令和7年2月9日に発表会を開催いたしました。作品展示、発表会とも、とても素晴らしいもので、どちらも多くの来所者がありました。参加した団体の皆様、大変ご苦労様でした。



ぶらり ハイキング 朝房山

3月1日(土)にバスを利用して、水戸市最高峰の朝房山(201m)を周回してきました。朝房山登山道あぼっけ口(木葉下バス停から約500m先の右カーブの広がっている歩道)から100m進むと分かれ道があります。左手の「車両進入禁止」の鎖を抜け、林道沿いに歩いていきます。ピンクリボンや標識のとおり進むと頂上に到着します。往復で約70分程度です。藤井川ダム周遊コースもあり、温泉(ホロルの湯)に入ってゆっくりすることができます。早春、新緑の時期はとても気持ちの良いハイキングコースですので、一度歩いてみてはいかがでしょうか。くれふしの里古墳公園経由でゆっくりと歩いていくのもお勧めです。

車 利 用／県道石岡城里線で「朝房山登山道あぼっけ口」に車を止める。

バス利用／土日祝日のみ運行。

行き：石塚車庫行(内原駅発 10時22分、12時55分)に
乗車、ホロルの湯入口下車

帰り：ホロルの湯入口
(11時44分、14時14分)

料 金／490円(片道)

徒 歩／内原駅から朝房山登山道あぼっけ口まで約7km



編集後記

今年は、偏西風の蛇行により、日本海側は大雪による雪害、太平洋側は乾燥や少雨による火災が数多く発生しました。特に、岩手大船渡山林火災では、多くの家屋や山林等が焼失し、焼失面積は、平成以降国内最大規模と言われています。4年前に実家の田んぼで枯草を燃やしたところ、あっという間に他の田んぼに燃え移り、消防に通報したことがあります。田んぼの住所まで把握していなかったのが、伝えるのに時間がかかりました。「火は風を呼び、風は火を呼ぶ」ことを、身をもって体験しました。火の扱いには十分注意したり、目印になる建物や電柱などの住所表示を日頃からチェックしたりしておきたいものです。

広報委員長 岡村 正 洋